

2019

感恩奉仕

Gratitude and Service

ファクトブック

データでみる 九州ルーテル学院大学



九州ルーテル学院大学
KYUSHU LUTHERAN COLLEGE

ルーテル学院 CONTENTS

- | | | |
|--------------|------------|-----------|
| 1. 基本理念・教育目標 | 5. 教育 | 9. 国際交流 |
| 2. 沿革 | 6. 卒業後の進路 | 10. 研究 |
| 3. 学生数 | 7. 就職・進路支援 | 11. 学生生活 |
| 4. 入学状況 | 8. 地域貢献 | 12. 施設・設備 |

各種データは、原則として2019年5月1日を基準としています。

1. 基本理念・教育目標



一校章の意味一

キリスト教精神「感恩奉仕」を基礎に全人格を磨く

学問の府を意味するペンをかたどった校章の中心には、ルター(ルーテル)紋章に刻まれている十字架の心を単純化した“赤い丸”が配されています。
この一点こそが、学院の原点「靈育」でもあります。
大学を巣立つ皆さんが「神様の恩恵に感謝し、神と人に仕え(奉仕する)=感恩奉仕」に生きる
ことこそが、九州ルーテル学院の理念であり、使命であると考えています。

基本理念

- ①建学の精神“感恩奉仕”に則ったキリスト教主義の人格教育
- ②幅広い教養教育と専門領域における高度な教育研究
- ③福祉と社会・文化の向上に資する人材の育成

教育目標

グローバルな視野とボランティア精神を培い、専門に関する基礎を身につけ、バランスの取れた判断のできる、人間性が豊かで対人的配慮を有した人材の育成を図ります。

- ①志を高く持ち、継続的に努力をする人
- ②確かな倫理観を持ち、社会・文化の向上に貢献する強い意志を有する人
- ③本学の理念と特色を理解し、学ぶ意欲の強い人

研究に関する基本方針

- ①研究の組織的取組強化による価値の創造と地域貢献
- ②大学間連携等の共同研究の強化による社会との連携

地域連携・社会貢献に関する基本方針

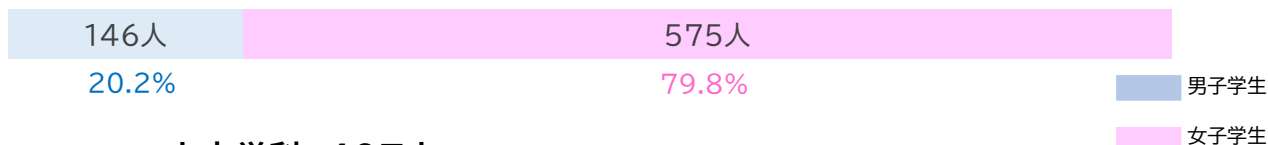
- ①教育研究の成果として、蓄積する知的及び人的な資源を積極的に社会へ還元
- ②地域社会、公共団体・教育機関・産業界、国際社会等、多様な場での交流の促進
- ③地域の知の拠点として、公開講座、オープンカレッジ等、多彩な社会人教育プログラムによる生涯学習の推進に寄与
- ④グローバルな視野やマインドを身に付け、国際社会で活躍できる人材の輩出

2. 沿革

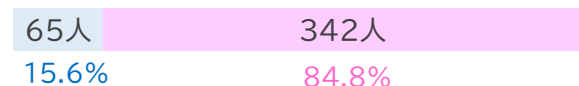
年代		沿革
1908	明治41	米国ペンシルバニア州のインマヌエル・ルーテル教会で「日本に女学校をつくるために」5ドルが献金された。
1926	大正15	1926(大正15)年 キリスト教主義の女学校として九州女学院(5年制)(初代院長マーサ・B・エカード)開校その後、九州女学院中学校(1947年)、九州女学院高等学校(1948年)、九州女学院幼稚園(1948年)を設置
		 開校当時の校舎(現高等学校本館)
1975	昭和50	九州女学院短期大学 開学
		 短大学舎(現大学1号館)
1997	平成9	九州ルーテル学院大学 開学 人文学部人文学科(入学定員150人・男女共学)
		 初めての大学入試
1998	平成10	九州女学院短期大学 閉校(廃止)
		 最後の卒業式
2004	平成16	人文学部 人文学科(入学定員75人)及び 人文学部 心理臨床学科(入学定員75人) 設置
2006	平成18	九州ルーテル学院大学大学院 開学 人文学研究科障害心理学専攻(修士課程)(入学定員5人)
2007	平成19	人文学部人文学科 キャリア・イングリッシュ専攻(入学定員35人)及びこども専攻(入学定員40人)設置
2011	平成23	人文学部人文学科 こども専攻を保育コース(定員30人)と児童教育コース(定員10人)に改編
2014	平成26	こころとそだちの臨床研究所 開設
2015	平成28	九州ルーテル学院大学附属黒髪乳児保育園 開園
2016	平成29	人文学部人文学科こども専攻(入学定員50人:保育コース定員30人 児童教育コース定員20人)及び 心理臨床学科(入学定員65人)に変更

3. 学生数

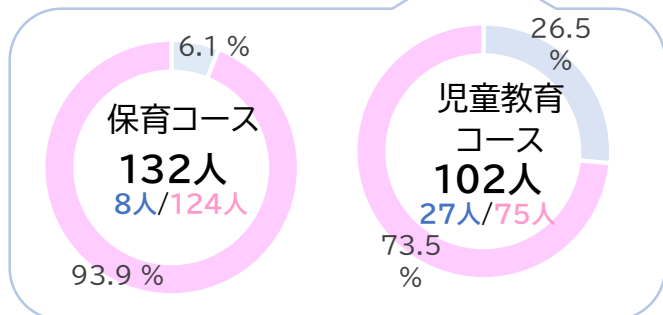
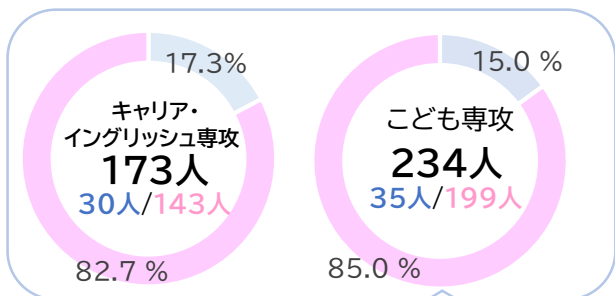
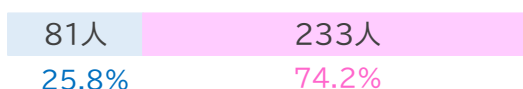
人文学部 721人



人文学科 407人

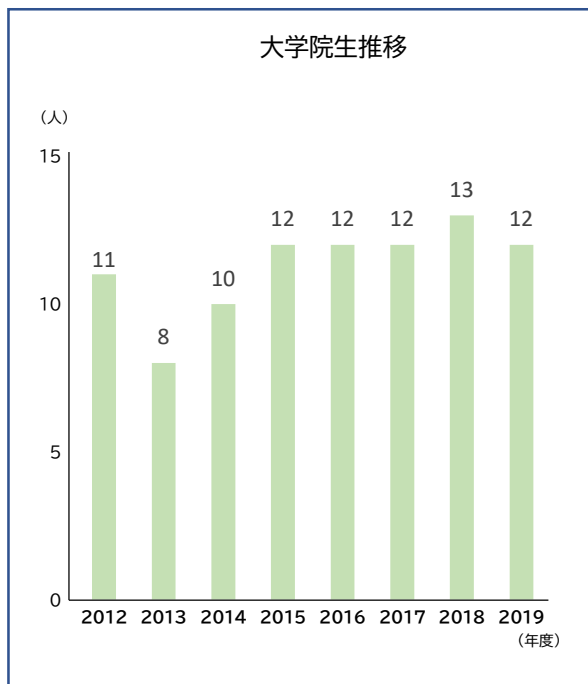
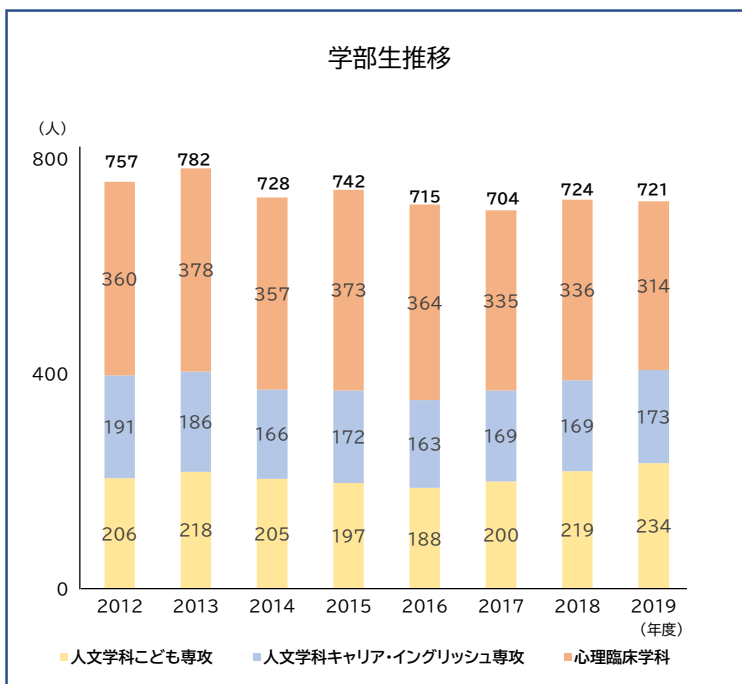


心理臨床科 314人



総数：733人

人文学科 407人
心理臨床学科 314人
人文学研究科 12人



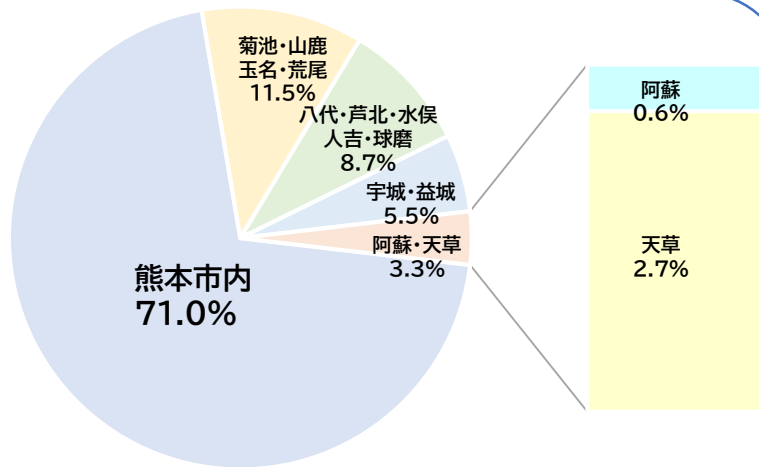
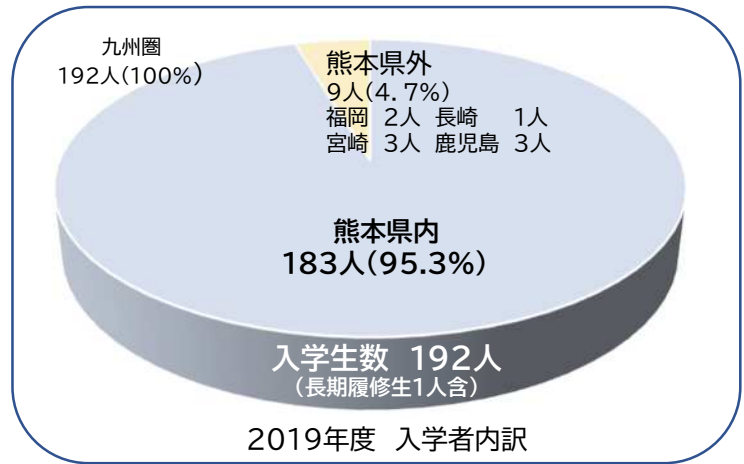
4. 入学状況



入学式

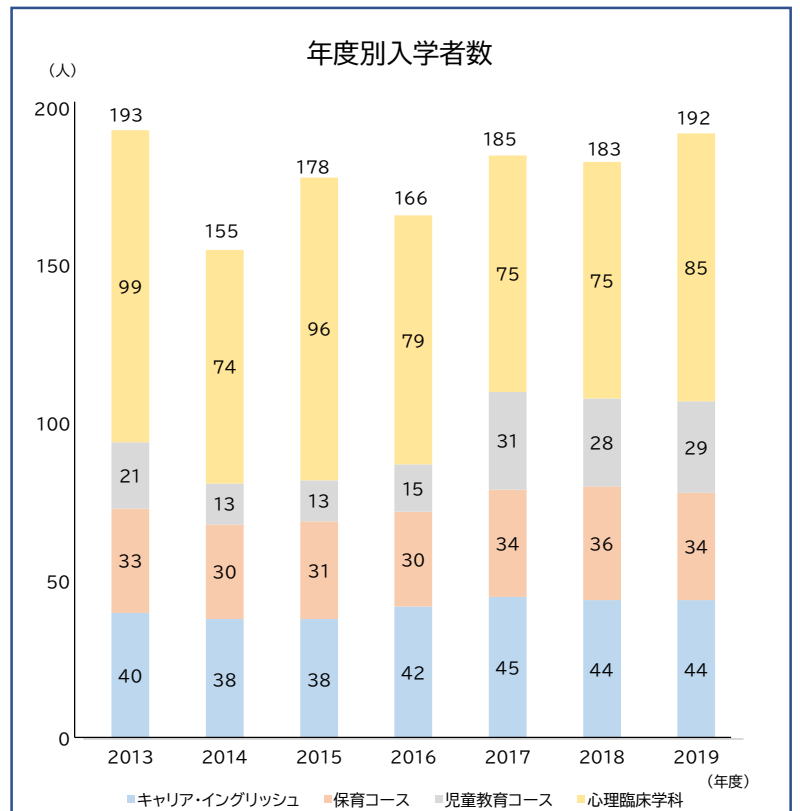
熊本県内地域別入学者

地域	(人)
熊本市内 (長期履修生1名含)	130
菊池・山鹿 玉名・荒尾	21
八代・芦北・水俣 人吉・球磨	16
宇城・益城	10
阿蘇	1
天草	5
合計	183



2019(令和元)年度 志願者・入学者内訳

	区分	定員	志願者	入学者	
人文学科	キャリア・イングリッシュ 専攻	35	142	44	
	こども 専攻	保育コース	50	66	34
		児童教育 コース		158	29
	心理臨床学科 (長期履修生1人含)	65	191	85	
	合計	150	557	192	



5. 教育

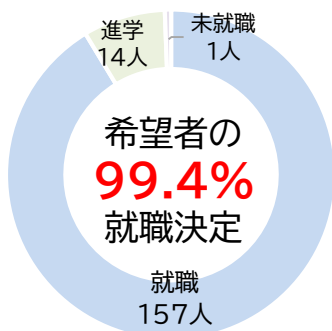
共通教育	特色	
	キリスト教教育	・キリスト教主義学校独自の必修科目 ・日々の礼拝や記念礼拝への参加
	異文化体験(短期海外留学)	・海外提携校への短期留学プログラム
	統計学	・熊本大学と連携したデータサイエンス教育科目
	秘書学	・秘書検定、ビジネス電話実務検定に直結する学修が可能 (ビジネス電話実務検定 文部科学大臣賞受賞 平成27年度、令和元年度)
	職場体験(インターンシップ)	・熊本県内外の企業と提携した職場体験学修(インターンシップ)
	ボランティア活動	・ボランティア体験学修

人文学科	専攻	キャリア・イングリッシュ	こども	
	コース	—	保育コース	児童教育コース
特色	・英語習熟度別クラス編成 ・異文化体験学修(短期海外留学)(希望者)	・特別支援教育に対応できる 保育士、幼稚園教諭、保育教諭の養成	・特別支援教育に対応できる小学校教諭の養成	・特別支援教育に対応できる小学校教諭の養成
免許・資格	・中学・高等学校(英語)教諭一種免許状	・保育士 ・幼稚園教諭一種免許状	・小学校教諭一種免許状	・小学校教諭一種免許状
条件付で取得可能な免許・資格	・小学校英語指導者資格(J-SHINE)			
主な就職先	・商社貿易系企業 ・国際交流機関・団体 ・航空業界 ・キャビンアテンダント ・グランドスタッフ ・小学校、英会話教室	・保育園 ・幼稚園 ・こども園 ・熊本市等の地方自治体	・小学校 ・特別支援学校 ・中学校・高等学校 ・熊本市等の地方自治体	・熊本市等の地方自治体
主な進学先	・熊本大学大学院 等			・熊本大学大学院 等

心理臨床学	特色	公認心理師等心理職養成	特別支援学校教諭養成	精神保健福祉士・スクールソーシャルワーカー養成	
	免許・資格	・認定心理士 ・高等学校(公民)教諭一種免許状 ・特別支援学校教諭一種免許状(知的障害、肢体不自由、病弱者)			
	条件付で取得可能な免許・資格	・精神保健福祉士(PSW) ・スクールソーシャルワーカー			
	主な就職先	・医療機関	・小学校 ・特別支援学校	・医療機関 ・福祉事業所	
	主な進学先	・熊本大学大学院 ・久留米大学大学院 ・福岡女学院大学大学院 ・鹿児島純心女子大学大学院 ・九州ルーテル学院大学大学院 等			

人文学研究科	専攻	障害心理学(修士課程)	
	特色	発達障害学領域	心理臨床学領域
		多様な授業形態 昼夜開講制とし、さらに土曜日や休日の開講、夏期・冬期休暇における集中講義	
免許・資格	特別支援学校専修免許状		

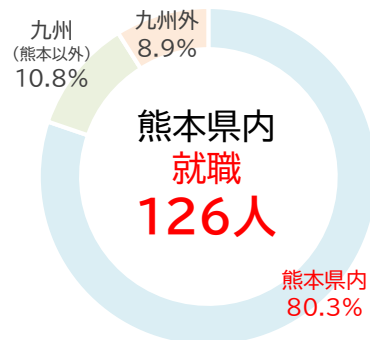
6. 卒業後の進路



100%
就職達成

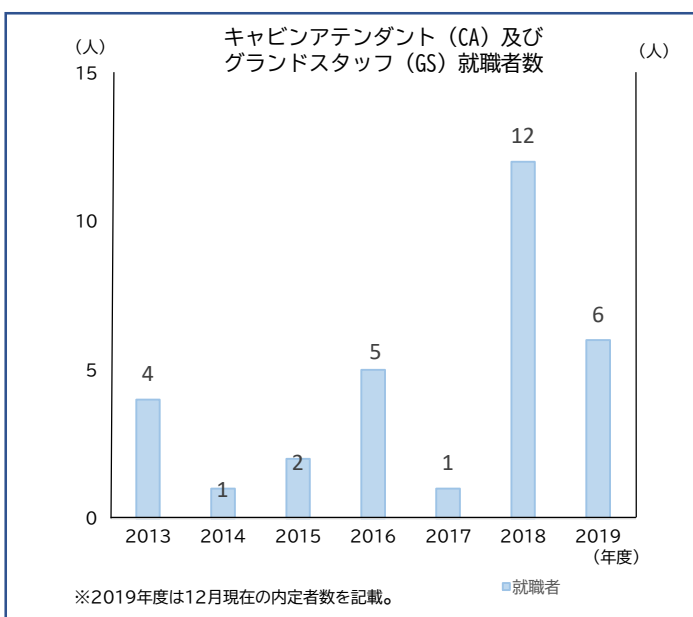
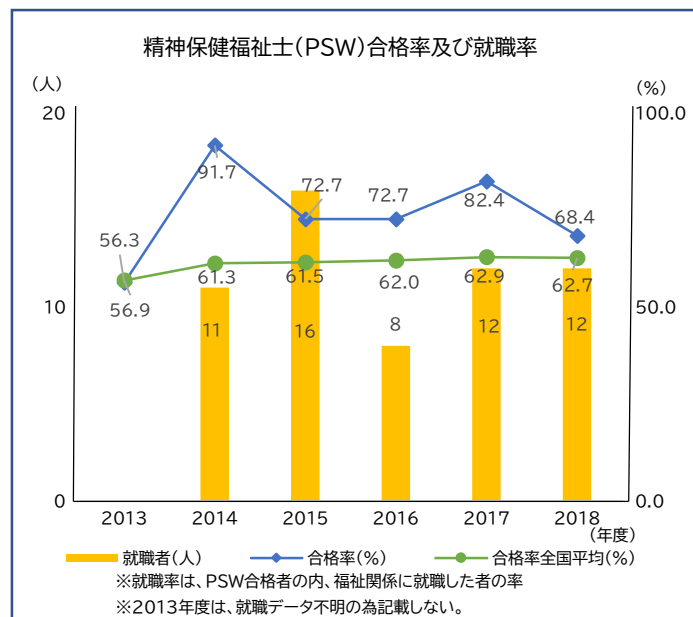
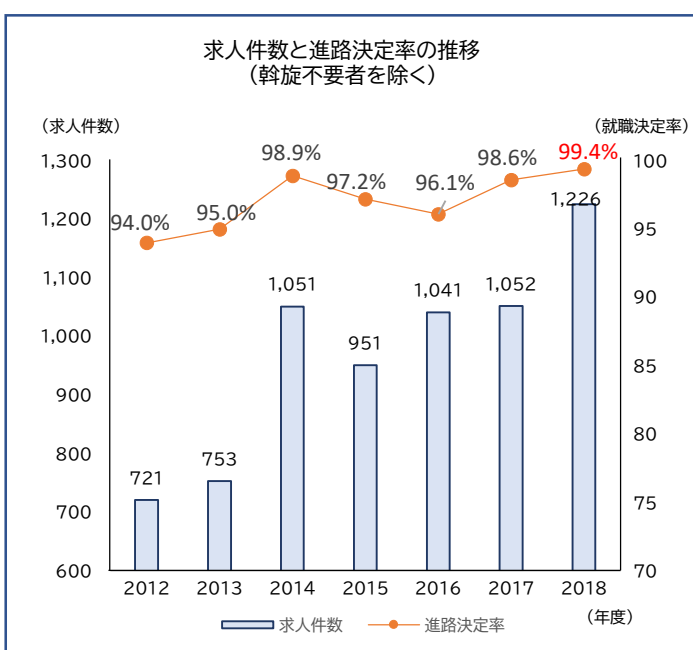
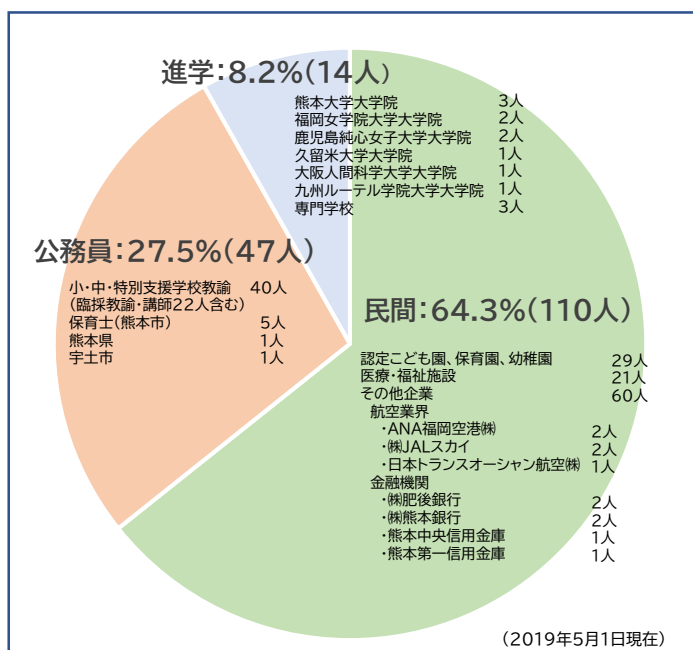
2019.6.30現在

就職希望者 158人
進学者 14人



2018年度卒業生就職希望者：158人 就職：157人
(進学者14人、斡旋不要者12人を除く)

(斡旋不要者内訳：ワーキングホリデー 2人 進学希望 2人 受験準備 3人 就職希望せず 4人 企業1人)



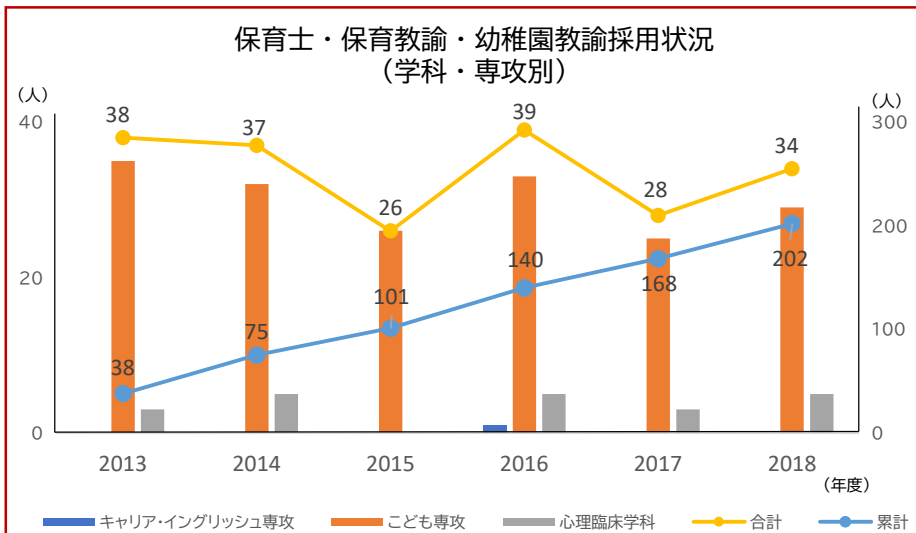
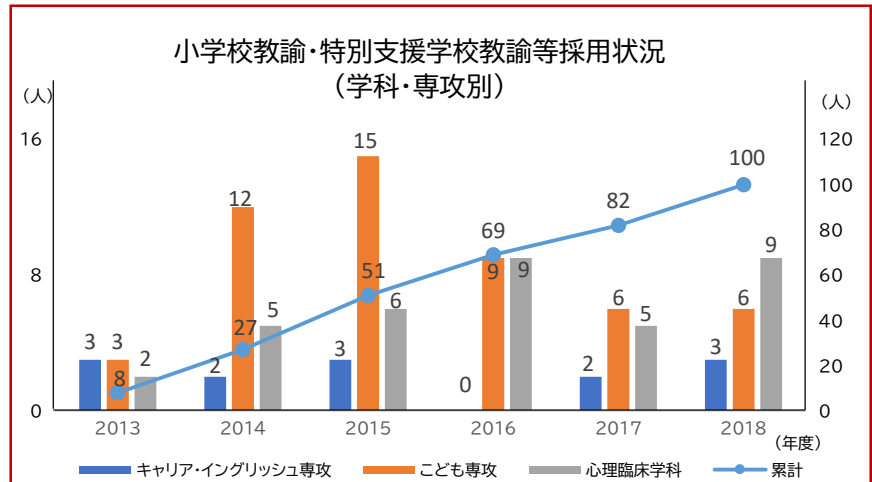
7. 就職・進路支援

(1) 教職・保育支援センター

公立学校教員採用試験
「100人」(6年間)の
正規採用実績



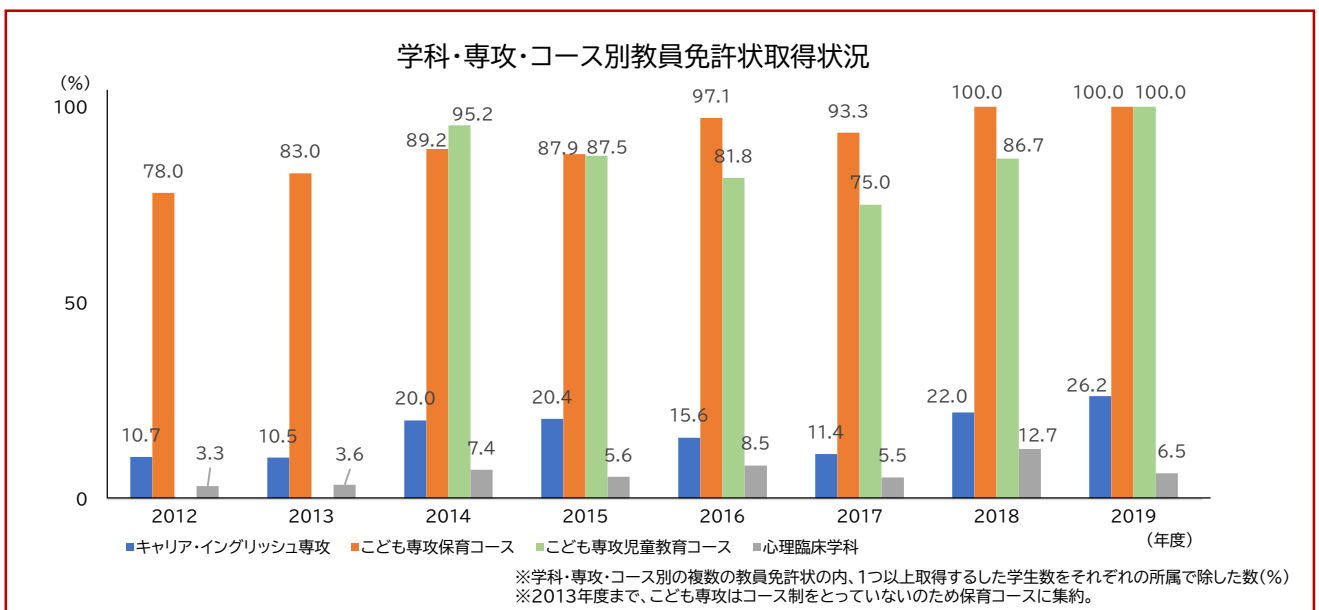
小学校教諭



保育士・保育教諭・幼稚園教諭
希望者100%就職



保育士



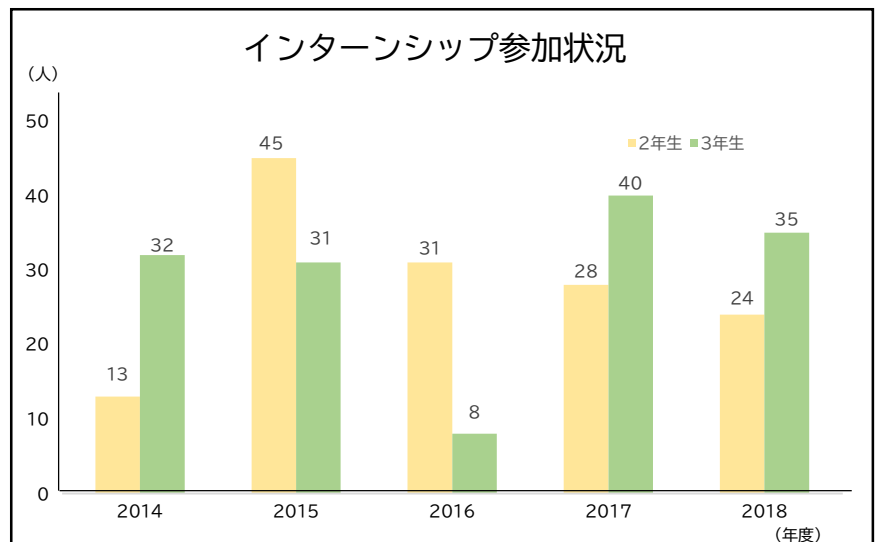
(2) 就職ガイダンス



ペプ・ラリー（就職活動kickoff）（3年生）

講座開設状況（2018年度）		
講座名	回数	対象
就職対策講座	18	3年生
教員採用試験対策講座	29	3年生から4年生 受験希望者
精神保健福祉士 国家試験対策講座	23	4年生 受験希望者

インターンシップ先
 地方自治体から
 福祉、病院、マスコミ、銀行、
 保険、運輸等
 幅広い職種の体験が可能



(3) 資格取得等の状況（2018年度）

資格名	受験者数	合格者	率 (%)	備考
TOEIC (730以上)	279	12	—	参考：英検準1級 合格者4名
保育英語検定	10	5	50.0	
Word文書処理技能認定	85	77(9)	90.6	()は、1級合格者
Excel表計算処理技能検定	13	6(1)	46.2	()は、1級合格者
サービス接客検定	38	28	73.7	全国平均 62.3%
ビジネス電話検定	15	12	80.0	全国平均 62.3%
秘書検定	78	45	57.7	全国平均 60.3%
精神保健福祉士	17	13	76.5	全国平均 62.7%

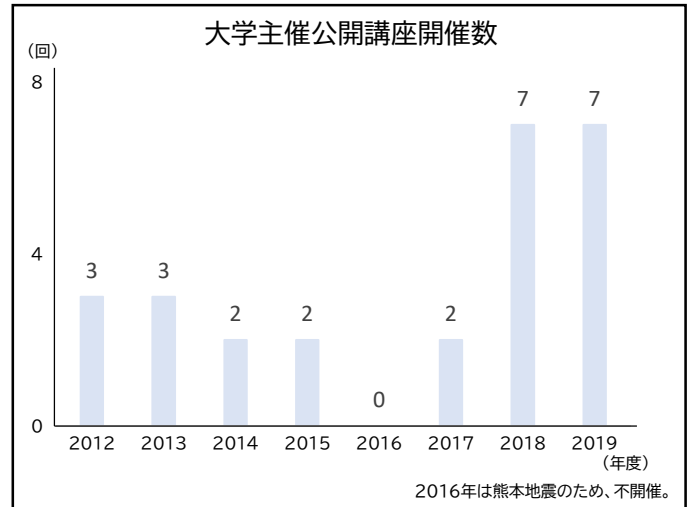
8. 地域貢献

(1) 公開講座実施状況

①大学主催



サンタの国フィンランド クリスマスの話とリース作成



2019年度 公開講座一覧

講座名	回数	受講者数 (延べ人数)
保育者が元気になるためのコーチングスキル —モチベーションの維持と良好な人間関係をめざして—	2	25
Let's play in English	1	20
親子サイエンス大実験カレッジ	5	120
障がいのある学生の修学支援に関する講演会 —合理的配慮について考える—	1	91
夏目漱石「こころ」を読む	3	20
新しい心理の資格『公認心理師』について	1	10
サンタの国フィンランド クリスマスの話とリース製作	2	34

② 外部機関での公開講座

2019年度 外部機関での公開講座

講座名	主催	受講者数
「大人でも楽しい 科学実験講座」	大学コンソーシアム熊本 くまもと県民カレッジリレー講座 「キャンパスパレア」	26
地域の家族見守り サポーター養成講座	合志市 女性・こども支援課	20

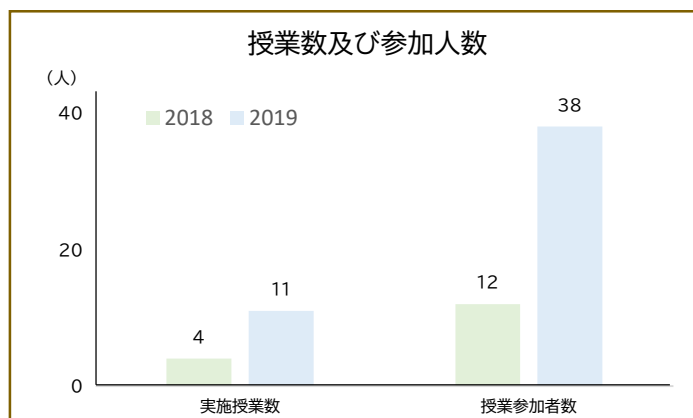


「大人でも楽しい科学実験講座」

(2) 高大接続・連携

大学キャンパスVisit&Try

高校生が、「大学での学びやサークル活動」に触れ、知的好奇心の喚起や大学教育への円滑な接続の機会にするとともに、進路選択の一助とする。
(2018年度からルーテル学院高等学校と実施)



2019年度 実施状況

授業名	学科 専攻・コース	受入人数	参加人数
器楽Ⅲ	こども専攻保育コース	10	7
Communication EnglishⅡ	キャリア・イングリッシュ専攻	5	2
社会・集団・家族心理学	心理臨床学科	10	4
小学校英語指導原論	心理臨床学科	10	2
小学校音楽演習Ⅱ	こども専攻児童教育コース	10	2
心理学実験演習	心理臨床学科	10	4
発達心理学Ⅰ	心理臨床学科	10	2
障害者教育総論Ⅱ	心理臨床学科	制限なし	2
こども家庭福祉	こども専攻保育コース	10	5
生徒指導論(中高)	全学科(教職希望者)	7~8	6

サークル名	受入人数	参加人数
手話サークル	制限なし	2



授業風景(社会・集団・家族心理学Ⅰ)



授業風景(こども家庭福祉)

(3) ボランティア活動



自閉症支援部 クリスマス会
(熊本県自閉症スペクトラム協会主催)



災害ボランティア
令和元年8月豪雨災害(佐賀県 武雄市)

活動実績		
活動団体等	活動内容等	活動場所等
ダウン症支援部	ダウン症の方との療育活動と余暇活動	毎週土曜日 熊本県身体障がい者福祉センター
自閉症支援部	自閉症児の子どもたちへの療育活動	本学内
子育て支援部 「くれよん」	小学部と幼稚部に分かれ子育て支援活動を実施	土日を中心 リクエストがあれば県内どこでも
金曜教室 「発達障がいのある児童生徒の学習支援活動」 心とそだちの臨床研究所(ジャニス)	LD、ADHD、高機能自閉症などの発達障がいのある小・中・高校生を対象として、本学学生・大学院生等による学習支援活動と、教員と外部の専門家による保護者支援の実施	毎週金曜日18:30-20:20 本学4号館、2号館
ルーテルかよう会	「ささえりあ浄行寺」と合同で介護予防教室を実施	毎週火曜日 本学ボランティアセンター
災害ボランティア	災害ボランティア(武雄市) 9/10 学生9人 教職員3名	9/10 佐賀県武雄市



ダウン症支援部 療育キャンプ
(阿蘇市)



ルーテルかよう会 体力測定
熊本市(九州ルーテル学院)

(4) 包括連携協定

① 地方自治体との包括連携等		
自治体名	主な活動内容	締結日
菊池市	・「こころの問診票」の実施(菊池市内小中学校) ・菊池市不登校対策研修会講話	2019年3月
合志市	・ソーシャルワーカー派遣 ・地域の家族活動見守りサポーター養成講座(昼・夜)	2014年11月
和水町	・こどもフェスティバルin和水 ・和水町英語キャンプ in 和水 ・なごみ物産展inルーテル	2016年 4月
菊陽町	・小学校外国語活動学生ボランティア派遣	2010年6月

② 学校との包括連携等		
学校名	主な活動内容	締結日
熊本大学	・数学・統計学・データサイエンス教育の連携 ・学修効果に関する情報共有	2019年12月
ルーテル学院大学	・研究プログラムの共同構築	2019年 1月
熊本県立ひのくに高等支援学校	・園芸活動 ・交流会	2018年 7月

(5) 自治体等への協力(一部抜粋)

内容	委嘱団体等	協力者
熊本市男女共同参画センターはあもにい運営審議委員	熊本市男女共同参画センター	広渡純子
熊本県いじめ防止対策審議会会長	熊本県教育委員会	岩永 靖
熊本県いじめ問題対策連絡協議会委員		
スーパーバイザー	宇土市教育委員会	河田 将一
宇土市いじめ問題対策連絡協議会委員		
スクールソーシャルワーカー	熊本県教育委員会	井崎 美代
教育振興基本計画推進委員		
いじめ防止対策委員	熊本県教育委員会(盲学校)	緒方 宏明
就学支援委員	熊本市教育委員会所管	
特別支援教育専門家チーム委員	熊本市教育委員会	古賀 香代子
熊本県スポーツ推進審議会 委員	熊本県教育庁	
熊本県スクールカウンセラー	熊本県教育委員会	犬童 昭久
熊本県教育相談専門員		
菊池市スクール・サポートチーム委員	菊池市教育委員会	永野 典詞
菊池市不登校対策協議会委員	菊池市不登校対策協議会	
宇土市いじめ防止等対策委員会委員長	宇土市教育委員会	佐々木 順二
熊本市児童福祉施設等認可審査部会委員	熊本市	
熊本県いじめ調査委員会委員	熊本県いじめ調査委員会	古賀 香代子
熊本市精神保健福祉審議会審議会委員	熊本市精神保健福祉審議会	
障害者総合支援審査会委員	有明広域行政事務組合	犬童 昭久
美術館専門委員会委員	芦北町立星野富弘美術館	
八代市障害支援区分認定審査会審査会委員	八代市障害支援区分認定審査会	永野 典詞
学校評議員	熊本県立熊本聾学校	



菊池市との包括連携協定



地域の家族活動見守りサポーター養成講座(合志市)

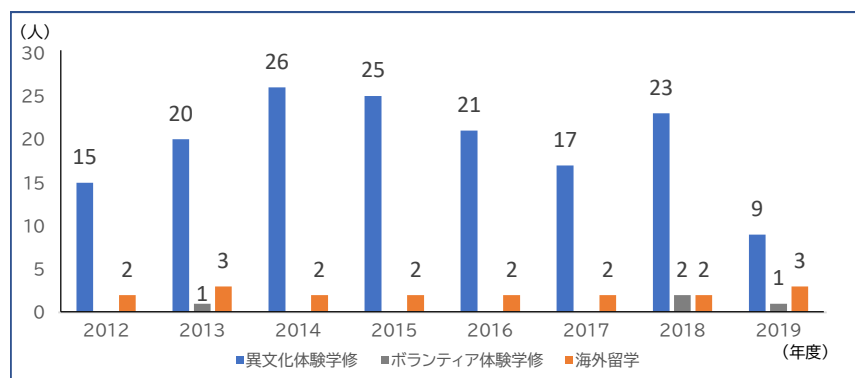


こどもフェスティバルin和水(和水町)

9. 国際交流

異文化体験・海外留学制度

(1) 異文化体験・海外留学者数



海外留学奨学金制度

ムラサキスポーツ奨学金制度

(返還義務なし)
 パートン&サウスダービシャーカレッジ
 留学生対象 2名/年

海外留学奨学金制度

(返還義務なし)
 異文化体験学修プログラム参加者のうち
 語学研修者のみ対象
 対象 10万円 最大5名/年

(2) 異文化体験学修 一覧

	大学名	国	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
1	Induk University(インドク大学)	韓国				1	2			
2	平澤大学(ピョンテク大学)	韓国		1						
3	Holden Village(ホールデン・ヴィレッジ)	アメリカ	10							
4	Grunewald Guild(グリーンウォルド ギルド)	アメリカ		10	7	2	4	3	1	
5	アシスタントティーチャーインターンプログラム	アメリカ		3	3	1	2	5	4	2
6	Sunway University(サンウェイ大学)	マレーシア	3	4		5		1	3	4
7	Flinders University(フリンダース大学)	オーストラリア	2	2	4	11	12	5	6	
8	Curtin University(カーティン大学)	オーストラリア						3	5	3
9	Bourn ville College(ボーンビル大学)	イギリス			12					
10	Burton & South Derbyshire College (パートン&サウス ダービシャーカレッジ)	イギリス				5	1		4	
	合計		15	20	26	25	20	17	23	9

(3) ボランティア学修 一覧

	機関名	国	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
1	India(日本福音ルーテル社団)	インド							2	
2	Cambodia(日本福音ルーテル社団)	カンボジア		1						1
	合計			1					2	1

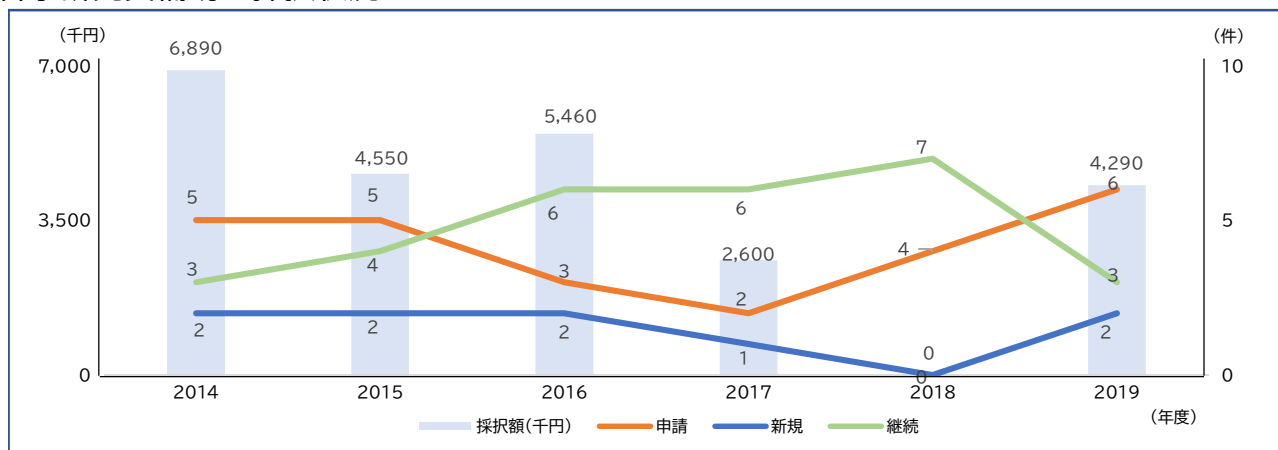
(4) 海外留学 一覧

	大学名	国	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
1	Sunway University(サンウェイ大学)	マレーシア			1					
2	Induk University(インドク大学)	韓国	1	2						1
3	Burton & South Derbyshire College (パートン&サウス ダービシャーカレッジ)	イギリス				2*	2*	2*	2*	2*
4	Flinders University(フリンダース大学)	オーストラリア	1*	1*	1*					
	合計		2	3	2	2	2	2	2	3

10. 研究

(1) 研究助成金等

① 科学研究費補助金採択状況



② 2019年度科学研究費補助金採択事業(継続・分担者含)

氏名	事業名	期間	研究費区分
有村達之	慢性疼痛に対するマインドフルネストレーニングの有効性検証	2019-2021	基盤C
岩永靖	子どもの課題スクリーニングからの支援・効果まで循環するシステム	2019-2024 (分担者)	基盤A
石坂 昌子	家族のQOLに関するフィードバック面接の試み	2015-2019	若手研究(B)
高野美雪	日本とフィンランドにおける発達障がい児の生活リズム作りのための健康増進要因の解析	2016-2018 (継続中)	基盤C
和田由美子	幼児におけるネガティブでない泣きの表出と理解の発達	2017-2019	基盤C

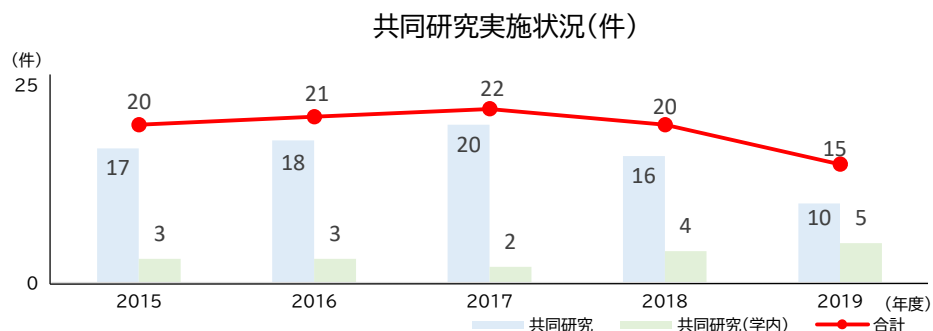
③ 研究助成

年度	事業名	機関	氏名
2019	「多文化保育とその研修に関する実態研究 —保育者の困り感に注目して」	保育士養成協議会	三井 真紀 (共同研究者)
2019	「保育所を中心とした子育て支援ネットワーク形成に関する研究」	日本保育ソーシャルワーカー 学会	香崎 智郁代

④ 各種補助金受託状況

年度	事業名	千円
2017	平成29年度 私立大学等改革総合支援事業(タイプ1:教育の質的転換)	19,500
2017	平成29年度 私立大学等教育研究活性化設備整備費補助金	14,995
2018	平成30年度 私立大学等改革総合支援事業(タイプ5:プラットフォーム形成)	5,000
合計		39,495

(2) 共同研究



2019年12月現在
※継続研究を含む

① 共同研究実績(2019年12月現在)

氏名	テーマ(概要)	共同研究者等	開始
有村 達之	慢性痛に対するマインドフルネストレーニングの有効性検証	田代雅文 (熊本大学)	2014-
岩永 靖	子どもの課題スクリーニングから支援・効果まで循環するシステム構築	山野則子 (大阪府立大学)	2019-
犬童 昭久	地域に関わる伝統・文化に関する学習の実践 - 図画工作科の授業における「鬼瓦」を取り上げた事例 -	東 奈美子 (熊本市立健軍小学校)	2019-
	E.P.トーランスの創造性テストTTCTの再考と試行	前村晃(佐賀大学名) 栗山裕至(佐賀大学) 丁子かおる(和歌山大学) 樋口和美 (福岡女子短期大学) 白石恵理(中村学園大学) 宮崎祐治(神野こども園) 王寺直子 (認定こども園 あかさかルンビニー園)	2018-
河田 将一	職業実践力育成プログラム - 子どもの心の支援に関わる高度人材育成プログラムの開発と実践 教師、保育士、療育関係者を対象とした研修プログラムの開発と実践	調漸・岩永竜一郎・吉田ゆり・ 田山淳・田中悟郎・徳永瑛子・ 今村明 (長崎大学)	2017-
坂本 昌弥	阿蘇黄土の教育的活用法	(株)日本リモナイト	2017-
佐々木 順二	義務就学制実施後の聾教育の目的論と教育方法の変遷に関する研究	公益財団法人聴覚障害者 教育福祉協会/私立日本聾 話学校/筑波大学附属聴覚 特別支援学校	2017-
	地域の情報保障ニーズの把握に基づく大学間連携による支援者養成	熊本県ろう者福祉協会/熊 本大学学生支援室/日本聴 覚障害者学生高等教育支援 ネットワーク(PEPNet- Japan)	2018-
百武 玉恵	イギリス英語の諸相	浅田壽男 (元関西学院大学)	2017-
三井 真紀	多文化保育とその研修に関する実態研究	石井研究室 (大妻女子大学)	2019-

② 学内共同研究実績(2019年12月現在)

氏名	テーマ(概要)	共同研究者	開始
香崎 智郁代	保育実習Ⅱ後の振り返りからみる事前・事後指導のあり方の検討	永野 典嗣	2017-
永野 典嗣	新しい時代の多文化共生保育と課題-保育者養成校における学びの場の構築	保育コース ・井崎美代・金戸清高 ・香崎智郁代・水町愛 ・三井真紀	2019-
高野 美雪	特別な教育支援を要する子どもや若者の生活習慣形成につながる実行機能の検討	坂根 シルク	2019-
百武 玉恵	大学生における英語能力と日本語能力の関連	和田 由美子	2014-
和田 由美子	幼児におけるネガティブではない泣きの表出と理解の発達	井崎 美代	2015-

(3) 学内競争的資金

九州ルーテル学院大学教育改革・研究奨励制度

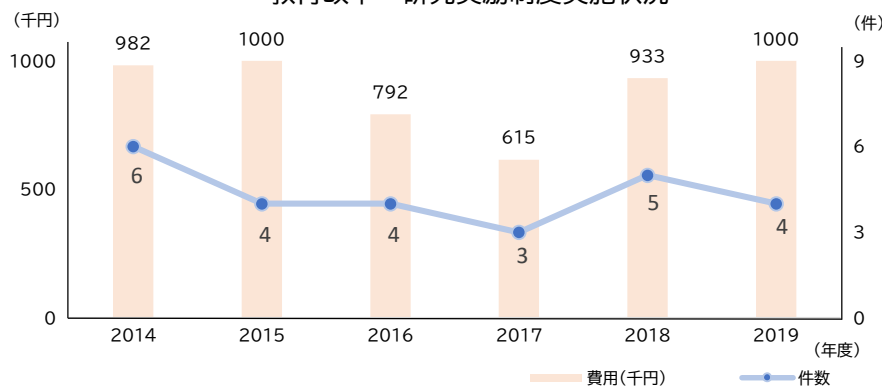
教育改革及び個人研究等を奨励するため、当該活動に要する費用を助成

研究実績(2014-2019年度)

年度	研究テーマ	研究者
2015	「The disruption of the sense of agency in schizophrenia : A neuroimaging study with NIRS.	久崎 孝浩
	「フィンランドにおける小児の睡眠・生活リズム調査の試み」	高野 美雪
	「フィンランドの多文化保育に関する実証的研究－アジア系移民の生活世界の分析」	三井 真紀
2016	小学校英語活性化のための教材作成と活用評価	島内直英
	ヘンリー・ジェイムズ没後百年 「越境」する作家の現代的意義を探る－	砂川 典子
	重度聴覚障がい学生の受講する英語科目の教授法と評価方法、並びに情報保障方法の開発	佐々木 順二
2017	小学校英語教材活用マニュアルの作成と実践検証	島内直英
	義務就学制実施後の聾教育の目的論と言語指導法の整備 －昭和30年代までの公立校と私立校の比較－	佐々木 順二
	子どもの主体的な活動を促す環境構成の在り方についての研究 －保育所内での子どもの行動観察を通して－	香崎 智郁代
2018	水俣市内の小中学校での英語力向上支援と英語力評価法の研究	島内 直英
	KLCが取り組む地域と連携した理科教育	坂本 昌弥
	義務就学制実施後の聾教育の目的論と言語指導法の整備 －昭和40年代までの東京の国公立私立聾学校の比較－	佐々木 順二
	短期英語語学留学プログラム別の英語力向上の効果と英語力維持のための方略	松本 充右
	熊本県における不登校支援のための情報の集約	石村 華代
2019	英語能力判定における「書く」、「話す」の評価問題と実態調査	島内 直英
	義務就学制実施後の聾教育の目的論と教育的人間関係の変遷 －昭和50年代までの東京の国公立私立聾学校の比較－	佐々木 順二
	家族支援のパラダイムシフト－フィンランドで親になる。	三井 真紀
	新しい時代の多文化共生保育と課題－保育者養成校における学びの場の構築	永野 典詞(代表研究者) 井崎 美代・金戸 清高 香崎智郁代・水町 愛 三井真紀

注:在職者のみ記載

教育改革・研究奨励制度実施状況



2017年度の申請は熊本地震(2016年度)の影響で減少

注:退職者を含むすべてを計上



熊本県
不登校支援団体ガイドブック
(研究実績)

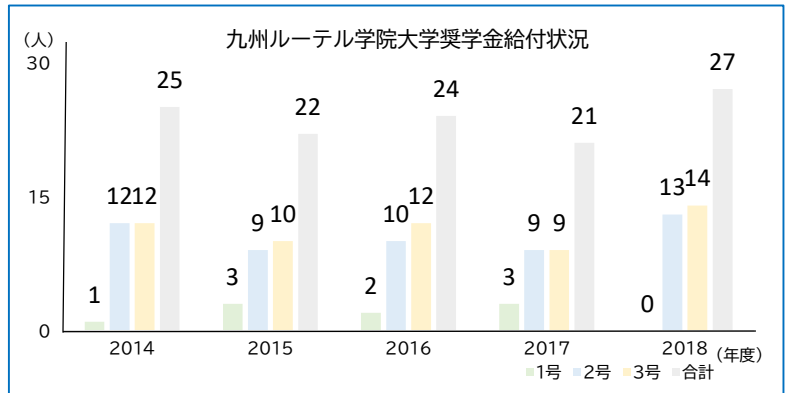
11. 学生生活

(1) 九州ルーテル学院大学奨学金（通称KLC奨学金）

種別：給付型(返済の必要なし) 給付額：当該授業料に対する率



KLC奨学金授与式



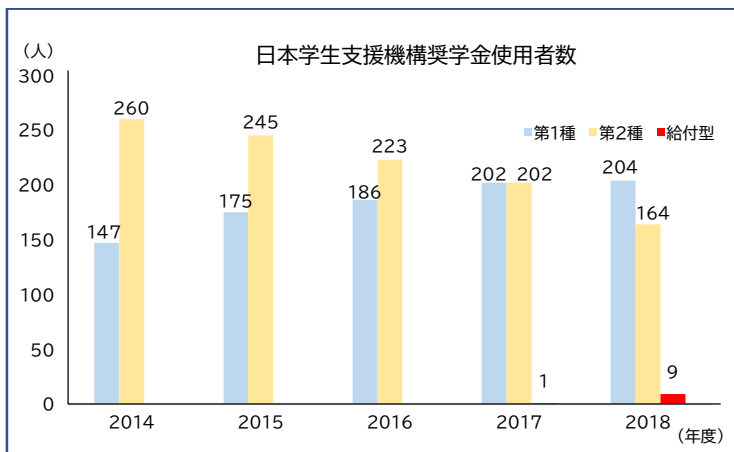
種別	給付額	人数	条件	実績(2018)
1号	100%	2人以内	成績・品行・学生生活が特に優秀であり、かつ、他の学生の模範となり、経済的にも援助が必要とする者	0人
2号	50%	各学年 4名以内	成績・品行・学生生活が優れ、かつ、他の学生と友好関係を保つことができ、経済的にも援助が必要とする者	13人
3号	25%	各学年 4名以内	特に経済的な援助が必要な者	14人



KLC奨学金授与式

※採択率：33.8%（応募者数：80人 選出者数：27人）

(2) 各種奨学制度利用状況



名称	利用者数(延べ人)
日本学生支援機構奨学金(1種)	204
日本学生支援機構奨学金(2種)	164
日本学生支援機構奨学金(給付型)	9
熊本県保育士修学資金貸付事業	10
熊本市奨学金	1
民間奨学金：壽崎育英財団(3人) 内村チ力育英財団(1人) 鶴友奨学会(2人)	6
合計	394

注：2018年実績

(3) 入試制度による奨学金

授業料全額免除入試

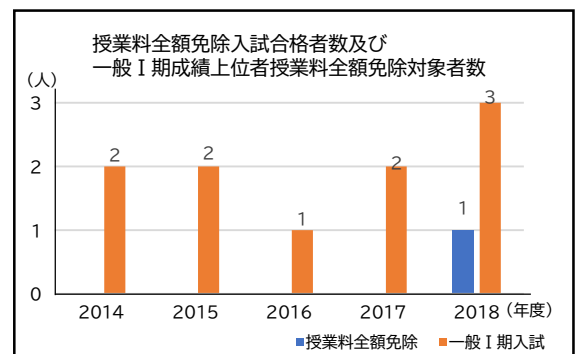
合格者は授業料を全額免除

(ただし、在学中の状況により取消になる場合あり)

一般Ⅰ期入試成績上位者授業料全額免除制度

成績上位者若干名について授業料を全額免除

(ただし、在学中の状況により取消になる場合あり)



(4) 学生サポート

障がい学生サポートルーム

・障がいのある学生が、他の学生と同じように授業等に参加できるように、学生の相談に応じ、必要な支援を行う窓口

- ・学生へのサポート業務
 - ・入学試験前の相談
 - ・入学までの支援
 - ・学生生活支援
 - ・就職支援
- ・学生サポートボランティアの育成
 - ・PCノートテイク支援 (2019年60人在籍)

- 情報保障用支援
 - ・PCテイク
 - 講義中の教員等の声をパソコンにて文字化
 - ・コミュニケーション
 - 講義中の教員の声を聴きとり易くする機器
 - ・UDトーク
 - 講義中の声を機器が認識し文字で表示
 - ・映像文字起こし
 - 映像を使用する教材の音声を事前に文字起こし、他の学生と同じように授業を受ける



プレゼンテーション賞
第15回日本聴覚障害者学生高等教育支援シンポジウム (PEPNet Japan) (2019.11.24)

SUNKuma(SupportUniversity Network Kumamoto)交流会」

・熊本大学とT-TAC Caption(筑波技術大学)を利用した遠隔操作によるPCテイクの相互利用

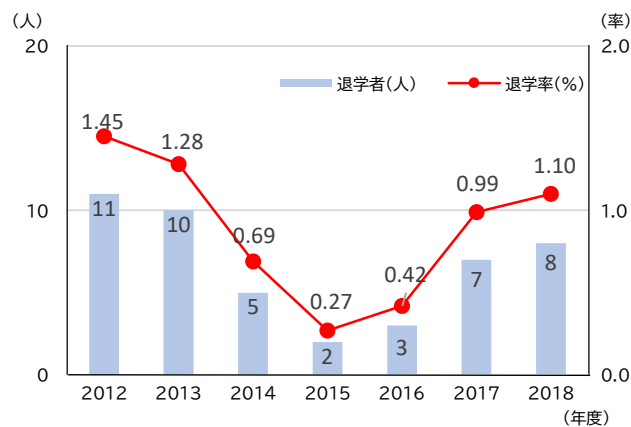


アドバイザー制 (クラス担任制)

入学時に約20名程度の学生グループを編成
原則として同じ教員が4年間アドバイザーとして卒業後の進路を視野に入れつつ、きめ細やかな指導を実施

学生支援懇談会

年2回、学生の状況を大学内で、情報共有卒業までのサポートを実施

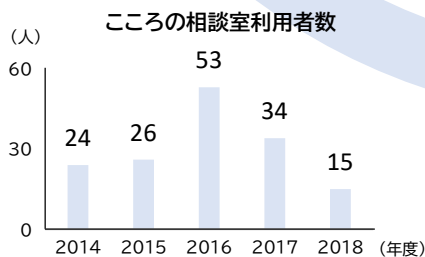


本学退学率 1.10%

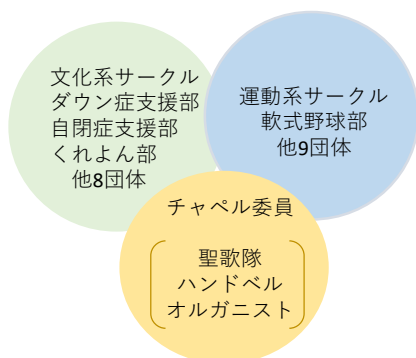
熊本県内 私立大学(文系学科) 退学率4.0~7.1%
算出方法:退学者÷(全学生+除籍者)×100(%)
(2018年度) 2019年12月 本学調べ

こころの相談室

臨床心理士の資格を持つ教員や外部カウンセラーを配置
様々な悩みの相談を受け、学生生活がスムーズに送れるようにサポート



(5) クラブ・個人活動等



ハンドベル



聖歌隊

特色のある活動

聖歌隊	礼拝堂を中心としたミニコンサート
ハンドベル	入学式・卒業式・キリスト教関連イベント



文部科学大臣表彰(ダウン症支援部)



熊本県青少年育成県民会議表彰



第7回エリザベス・ラッセル杯英語スピーチコンテスト 優勝

2019年度 実績

ダウン症支援部	「障害者の障害学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰
橋本夏季(個人)	熊本県青少年育成県民会議表彰 活動内容:熊本市子ども会育成協議会のさまざまな活動・運営
障がい学生 サポートルーム	プレゼンテーション賞 第15回日本聴覚学生支援に関する実践事例コンテスト2019(PEPNet Japan)
西村 祐香(個人) キャリア・イングリッシュ専攻	第7回エリザベス・ラッセル杯英語スピーチコンテスト 優勝(活水女子大学)

2018年度 実績

軟式野球部	第35回西日本大学軟式野球大会 出場
坂井梨矩(個人) キャリア・イングリッシュ専攻	第6回エリザベス・ラッセル杯英語スピーチコンテスト 優勝 (活水女子大学)



第35回西日本大学軟式野球選手権大会出場

(6) 学内表彰



2019年度学長賞及び学長奨励賞授賞者

学 長 賞(2012年～)

在学期間中に本人又は大学の名誉となる顕著な功績をあげた学生に対して、その功績を称える。

基準

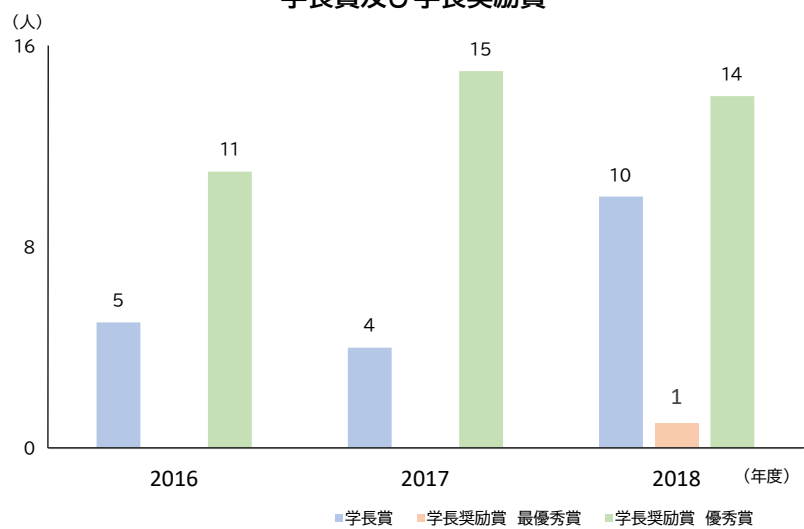
1. 他の学生の模範となる卓越した学業成績を修めた者
2. 在学期間を通じて宗教活動に極めて熱心に取り組み、たの学生の模範となる優れた実績を残した者
3. 正課外活動又は社会的貢献活動で顕著な功績をあげた者
4. その他、学長賞にふさわしい功績をあげ、学科長から推薦された者

学長奨励賞(2016年～)

該当年度において学長奨励賞選考基準を満たす者に対してその努力を称える。

基準	項目	最優秀賞	優秀賞
	TOEIC	860点以上	700点以上
	実用英語検定試験	1級	準1級
	各種情報処理検定	—	Word、Excel共に1級合格 ITパスポート試験合格
	保育英語	1級	準1級
	その他	学長奨励賞表彰にふさわしいと認める者	

学長賞及び学長奨励賞



学長賞及び学長奨励書授賞式

12. 施設・設備

(1) チャペル（礼拝堂）

県内大学では唯一の施設



座席数 585席



新入生礼拝



クリスマス礼拝

(2) グローバルセンター

2019年10月に拡充



(3) ラーニングコモンズ

LEAP「飛躍」(Learning & Education Assembly Place)





学院聖句

わたしが来たのは羊が命を受けるため、
しかも豊かに受けるためである。

(ヨハネによる福音書10章10節)

発行

九州ルーテル学院大学
〒860-8520
熊本市中央区黒髪3-12-16
TEL 096-343-1600(代表)
<http://www.klc.ac.jp/>